

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



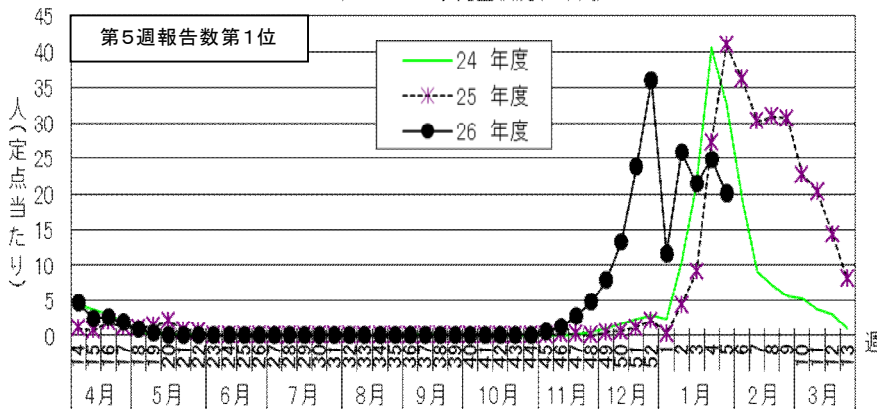
KAWASAKI CITY

平成27年1月26日（月）～平成27年2月1日（日）【第5週】の感染症発生状況

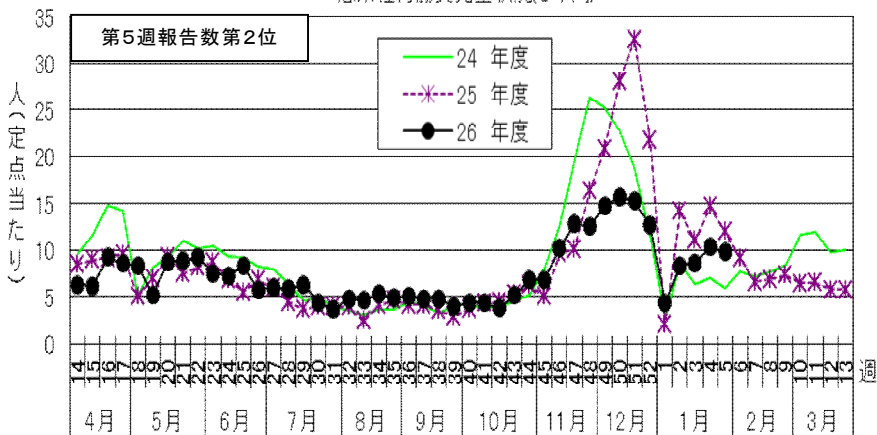
第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は20.02人と前週（24.89人）からやや減少しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.82人と前週（10.33人）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.09人と前週（2.36人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



感染症予防対策の3つの柱

例年、この時期は、「インフルエンザ」「感染性胃腸炎」「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の患者報告数が、他の疾患に比べて多くなります。

身の回りの環境を整え、手洗いやマスクを徹底するなど、感染症予防対策を心がけましょう。

対策の3つの柱

1 感染源を取り除く



消毒剤の使用 熱湯で消毒する 人混みを避ける

2 感染経路を遮断する



手洗い マスクの着用 うがい

3 宿主（ヒト）の免疫力を上げる

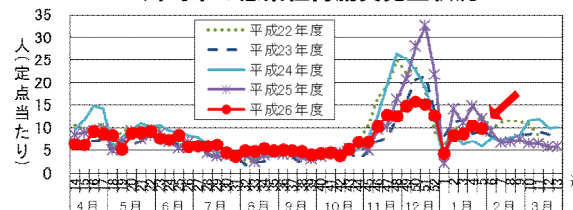


予防接種 バランスのよい食事 十分な睡眠

川崎市のインフルエンザ発生状況



川崎市の感染性胃腸炎発生状況



川崎市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況

